

人間の安全保障無償資金協力「グアルーリョス貧困住民支援計画」施設引渡式

3月27日、サンパウロ州グアルーリョス市内において、当館が実施した平成15年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「グアルーリョス貧困住民支援計画」の施設引渡式が行われ、当館の佐藤宗一総領事代理のほか、被供与団体であるアラン・カルデキアーリス・ペレイラ協会（IAKAP）の関係者をはじめ、地元関係者や付近住民の方々等、約400名が参加しました。



改修された教室

式典では、IAKAPのウビラタン会長が、「人間の安全保障」を目指す日本政府の考え方を見習って、今後も社会開発や貧困問題改善のために努力していきたい、と挨拶し、我が国の支援への厚い謝意が示されました。

また、同施設で音楽を学ぶ付近の子供達により、日本の歌（乾杯：長渕剛）が披露されたほか、建物内部に取り付けられた記念プレートの序幕等を行いました。

会場は日章旗や我が国への謝意を示す横断幕等で飾り付けられ、華やかな式典となりました。



新たに建設された医療チームの活動拠点

○ 上記案件のプロフィール

案件名： グアルーリョス貧困住民支援計画

被供与団体： アラン・カルデッキーアリス・ペレイラ協会（I A K A P）

契約署名日： 2003年9月2日

供与限度額： U S \$ 80,862

案件概要：

アラン・カルデッキーアリス・ペレイラ協会（I A K A P）は、サンパウロ州グアルーリョス市内において、付近の貧困住民に対し、無料で、教育、職業訓練、医療等の支援を行っている非営利団体ですが、このたび貧困住民子弟に対する教育活動を一層充実させるため、本年より、美術や保健の教育を新たに開始することにし、そのために既存の教室建物を改修することにしました。

また I A K A P は、施設内で貧困住民を対象とする無料診療所を運営していますが、本年より、付近住民約 4000 名の保健を担当する医療チーム（医師、看護師等数名で構成）の活動拠点を設け、貧困住民に対する医療支援を一層充実させることにしました。この医療チームは地元グアルーリョス市が派遣します。

今般の協力は、このための教室改修費用、医療チーム活動拠点建設費用等、総額約228,000レアルを、我が国が無償で資金供与したものです。



医療チームの人達と記念撮影